



「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテストの取り組みについて」

三井化学株式会社 大阪工場
安全・環境部 防災警備グループ

弊社大阪工場自衛防災組織は、「令和2年度 石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」において、総務大臣賞最優秀賞を受賞致しました。

本誌面では、弊社大阪工場の紹介ならびにコンテスト出場の取り組みについて、ご紹介させていただきます。

【三井化学株式会社大阪工場の紹介】

三井化学株式会社は、自動車、電子・情報、健康・医療、包装、農業、建築・建材、環境エネルギーなど幅広い分野において、人々の生活をより豊かにする製品・サービスを提供している総合化学メーカーです。

弊社大阪工場は、昭和39年に東洋高圧工業株式会社大阪工業所として操業を開始しました。大阪の中心部から南へ約17キロ、関西国際空港からは北へ約25キロの距離にあり、日本有数の工業地帯「堺泉北臨海工業地域」に位置しています。

また、10万トン級のタンカーが入港できる大型栈橋を持ち、製品や原料輸送の半分で船を利用するなど、生産および物流に優れた立地を活かして操業しています。

また、安全・地球環境に配慮しながら、暮らしに身近な「ものづくり」を通じて、広く社会に貢献しています。



大阪工場全景

【石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテストについて】

「石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト」は、石油コンビナートでの自衛防災組織の技能や士気を向上させ、防災体制を充実強化することを目的に、平成26年度に始まりました。

本コンテストでは、危険物施設等の火災に対する高所からの泡放水を想定し、「活動・操作の安全性、確実性及び迅速性」を評価します。

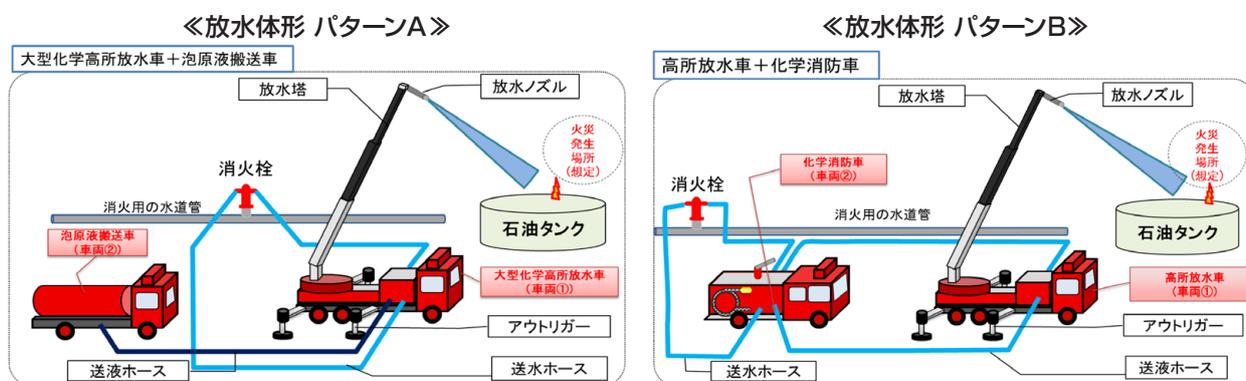
【コンテスト概要】

1) 出場資格

大型化学高所放水車及び泡原液搬送車、または高所放水車及び化学消防車を保有する、特定事業所の自衛防災組織及び共同防災組織で、管轄消防本部が推薦するもの。

2) 訓練想定

特定事業所内の石油タンクで火災が発生したことを想定し、自衛防災組織等の保有する消防車両を活用した消火活動競技。



(1) 車両を固定

車両①のアウトリガー（車両支持装置）を設定し、車両を固定

(2) 放水塔の設定

車両①の放水塔を伸ばし、屋外貯蔵タンクの上から泡を放出できる高さに設定

(3) 泡消火薬剤の送液 または送水

パターンA、パターンBの送水側車両②の種別に応じ、泡消火薬剤、もしくは消火用水を送水

(4) 放水

車両①で、泡消火薬剤と水を混合し、発泡された泡を放水ノズルから放出
※競技では泡消火薬剤を送液せず、水のみを送水・放水しています。

3) 予選の実施

令和2年度は予選廃止（新型コロナウイルス感染拡大のため）。

4) 本選の実施

弊社大阪工場を含めて、本選へは全国から30組が参加しました。

弊社自衛防災組織は、当初は令和2年10月9日(金)に本選実施を予定しておりましたが、台風14号の影響で令和2年10月23日(金)に日程を変更し、本選へ出場いたしました。

なお訓練想定は、放水体形パターンBで出場しました。

5) 審査

本選では、消防庁から審査長1名・審査補助者1名の計2名が会場事業所に出向かれ、撮影した競技映像を審査いただきました。

【三井化学株式会社大阪工場自衛消防隊】

三井化学グループの機能分社会社である 株式会社三井化学オペレーションサービスは、三井化学株式会社より業務委託を受けて、防災業務を遂行しています。

消防技能・技術の向上ならびに強化を目的とし、管轄消防本部の推薦をいただき、平成28年度より5年連続でコンテストへ出場しております。



令和2年度 コンテスト出場メンバー



本選出場の様子

- ◆平成28年度 消防庁長官賞「奨励賞受賞」
- ◆平成29年度 消防庁長官賞「奨励賞受賞」
- ◆平成30年度 総務大臣賞「優秀賞受賞」
- ◆令和元年度 消防庁長官賞「奨励賞受賞」
- ◆令和2年度 総務大臣賞「最優秀賞受賞」

【コンテスト出場に対する取り組み】

1) チーム編成と士気の高まり

総勢7名でチームを編成し出場いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大において、技能コンテストの実施自体が危ぶまれましたが、「予選は廃止し、本選のみ実施する」旨の通知を頂いた時から、「狙うは総務大臣最優秀賞」を合言葉に、本選一本勝負の緊張感が張り詰めました。

2) 訓練テーマと取り組み

新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、感染防止を徹底し訓練を開始しました。

「この状況を逆にチャンスとして捉え、これまで4年間連続出場をしてきた経験から、如何にタイムを削るか？」を念頭に、チーム内のパート毎に分析を繰返し、「タイムの意識」と「指示命令系統の正確性」を両立させるための訓練を開始しました。

公務ご多忙の中、堺市消防局、高石消防署、高師浜出張所の皆様からのご指導の下、出場者の個々の能力を最大限に引き出させていただきました。

また、ご教示いただいた経験と知見を、出場者一人一人が訓練に反映させることで技能向上に励みました。

そして、弊社大阪工場内の関係者からは熱い応援メッセージを受け取ったほか、訓練場所の提供、周辺環境の整備など、力強いバックアップを得ることができました。

訓練時間は合計で52回、延べ147時間に及びました。

出場者一人一人の経験に違いがある中、目標達成へ向けベクトルを合わせ訓練したことで大きな自信を得ることができました。

そして、「誰か特定の一人の力ではなく、チームで受賞した」ことを改めて実感した次第です。

石油コンビナート等における自衛防災組織の技能コンテスト
総務大臣賞表彰式
消防庁



最優秀賞表彰式の様子（前列中央:消防庁長官）



高石市へ ご報告（前列中央:高石市長）



堺市消防局へ ご報告（前列中央:堺市消防局長）



本選終了後の記念撮影
（ご指導いただいた公設消防の皆様と）

【おわりに】

私たちは、当社の企業理念及び行動指針である「法令遵守」はもとより、「安全は全てに優先する」ことを心に刻み、無事故・無災害の実現を徹底して追求し、安全・安定操業に邁進して参ります。

また、万が一の災害に備え、自衛防災組織を更に強固なものとするため、コンテスト出場の経験を職場内で確実に受け継ぎ、今後もコンテストへ挑戦して参ります。

そして、今回の受賞に満足することなく、迅速かつ丁寧に対応できる保安防災を目指し、日々精進して参ります。

最後に今回栄えある賞をいただいたことは、堺市消防局をはじめ、高石消防署、高師浜出張所の皆様方のご指導の賜物です。

この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。